



議会だより

第48号

2018・10・26

第3回(9月)定例会

定例会概要	2頁
一般質問	3~6頁
委員会審議	7~13頁
議会のうごき	14頁

秋に計画し、できるだけ猛暑等を回避できるよう実施している。平年より気温が上昇する場合は、簡易クーラー設置等で対応している。

特に、敬老会の実施は祝日敬老の日の開催にとらわれることなく、時期の変更も今後検討したい。

また、災害時の避難所としては、県内自治体のほとんどどの体育館が避難所指定されているが、各小中学校の体育館工アコン整備状況は県内でわずか1校、その内容も既存建物に整備し



※日頃から、避難場所や避難ルートの確認、非常持出品の準備をしておきましょう。

一般質問

答弁 兼西町長

たものではなく建築当初からの計画であり、改修工事よりも安価に対応できたと伺っている。

費用対効果を現実的に受け止めた財源の投資が必要で、町内の避難所指定を施すことは困難であるが、有事の際には町民の方々が少しでも快適に避難生活を送ることができるように対策を講じていかなければならない。

そこで、本町が現在使用している光ケーブル、光テレビについて伺う。

今後、この既存の光ケーブル、光テレビを使ってのわが町独自の情報発信は可能なのだろうか。また、このことについては、検討の余地があるのだろうか。

町の未来のために、対策、施策について検討していただきたい。

本町では、情報発信の方法として広報やIP告知端末があるが、情報化社会の現代において、情報はお金と同等の価値を持つとい

われ、更により良い情報発信が今後必要になってくると思われる。

仮にケーブルテレビが視聴できるようになれば、様々な情報発信の可能性が広がる。災害発生時の情報収集や情報発信。また、防災訓練の様子、町や地域の行事・お祭、議会のリアルタイムでの発信など、災害だけでなく町の活性化や賑わいをも与えてくれる。

そこで、本町が現在使用している光ケーブル、光テレビについて伺う。

今後、この既存の光ケーブル、光テレビを使ってのわが町独自の情報発信は可能なのだろうか。また、このことについては、検討の余地があるのだろうか。

町の未来のために、対策、施策について検討していただきたい。

本町では、情報発信の方法として広報やIP告知端末があるが、情報化社会の現代において、情報はお金と同等の価値を持つとい

ントラネットを整備し、既存の各共聴施設と接続することによって、整備費用と負担の大幅な軽減とともにテレビの視聴を可能にしてきた。

また、高速インターネットサービス及びIP電話が全域に受けられる環境も整備し、フレッツテレビの利用を工事費用のみの加入金無料とし、住民負担を最小限に抑えているところである。

本町のテレビ視聴世帯は共聴テレビと光回線によるフレッツテレビが混在しており、全国的にも特異な事例である。

以上のことから、ケーブルテレビの導入について、現時点では、それぞれ異なる設備や運営方法でテレビを視聴していることと、各共聴組合とフレッツテレビ会社の経営判断や設備投資など多くの課題が山積しているのも現実である。ケーブルテレビ導入の需要を図り

県下自治体の普及状況は、本町以外では一部地域限定という2市町を除く全てが全世帯ケーブルテレビを視聴できる環境となっています。

本町では、2011年の地上デジタル放送完全移行に伴い、町独自の地域イメージ

本町では、2011年の地上デジタル放送完全移行に伴い、町独自の地域イメージ

幅員が3m未満と狭く未改良の道路も多数ある。

そのため、今後も費用対効果をしつかり見極めた道路の維持管理をしなければならない。特に町ができるこ

とに町ができることは限られているので、国・県へ更にしつかりと働きかけていきたい。

以前、貞光の端山皆瀬で通行できなくなつたことがあり、端山・一字の人々の生活に支障が出た。一字では、迂回路として穴吹口山から往き來し長時間かかつたという話も聞いている。また、迂回路があつても道幅が狭ければ通行が不安である。

本町には、町道が865路線・林道22路線・農道2路線の計889路線、総延長約820kmある。また里道を含めれば、総延長が大幅に増える。ほとんどの集落へは、乗用車程度であれば乗り入れ可能であるが、

そういうことのないような形で道路の複線を考えられないものか。何かが起つてからでは、なかなかできない事なので、その点についてどうだろうか。

道路途中で通行止めが発生した場合に迂回路ができるのか、これは本町も旧町村時代も同様に遭遇している問題である。

国・県の補助は、受け皿の町が全ての地権者等の理解を得た上でなければ行えない。地域と行政が一丸となって用地交渉等を進めるにも筆界未定の壁が立ちはだかり、全て解消するには現段階では非常に無理がある。地権者探しも含め、かなりの年月と労力を要する。

従つて、弾力性を持ちつつ地域と行政が連携を図りながら、本当に必要な迂回路を作るとなれば、今後前進できる道を探つていきたい。

トサービス及びIP電話が全域に受けられる環境も整備し、フレッツテレビの利用を工事費用のみの加入金無料とし、住民負担を最小限に抑えているところである。

本町のテレビ視聴世帯は共聴テレビと光回線によるフレッツテレビが混在しており、全国的にも特異な事例である。

以上のことから、ケーブルテレビの導入について、現

時点では、それぞれ異なる設備や運営方法でテレビを視聴していることと、各共聴組合とフレッツテレビ会

ながら、通信事業者や業者等々との協議を重ね、将来の導入への道を探りたいと考えている。

いつからという即答は非常に厳しいが、時代錯誤となるぬよう、今後も財政の健全化と既存テレビ視聴に係る住民サービス向上を図るための検討及び関係機関への働きかけに最大限努力したい。

その道が使えなくなつた時に、どうしたらいのだろうか。生活の生命線である道路が使えなくなるのを防ぐための迂回路的ものは考えられないだろうか。

本町では、情報発信の方法として広報やIP告知端末があるが、情報化社会の現代において、情報はお金と同等の価値を持つとい



佐藤千代美
議員

質問 佐藤議員

大きな災害が発生したと想定した場合、時に道路の崩壊や土砂崩れによって長期間の集落の孤立化が心配される。特に道は、山間部に住む方々にとっては生活の生命線である。

袋路地ばかりで、その途中に崩落等があれば、集落は孤立するという大きな問題を抱えている。

では、なぜ今日までネットワークでそうした道路と道路を結ぶことができなかつた



台風や集中豪雨による集落の孤立化対策として、道路の改修改善等々をどのようにしていくか。

災害時による集落の孤立化を未然に防ぐ対策として、各集落をつなぐ道路を複数建設する必要性がある。特に、本町の面積85%が山間地域で国の中すべり・砂防の指定地域であるため、ネットワークで繋がっているところが少ない。旧一字村は特に袋路地ばかりで、その途中に崩落等があれば、集落は孤立するという大きな問題を抱えている。

では、なぜ今日までネットワークでそうした道路と道路を結ぶことができなかつた

本町には、町道が865路線・林道22路線・農道2路線の計889路線、総延長約820kmある。また里道を含めれば、総延長が大幅に増える。ほとんどの集

な形で道路の複線を考えられないものか。何かが起つてからでは、なかなかできない事なので、その点についてどうだろうか。

そういうことのないような形で道路の複線を考えられないものか。何かが起つてからでは、なかなかできない事なので、その点についてどうだろうか。

トサービス及びIP電話が全域に受けられる環境も整備し、フレッツテレビの利用を工事費用のみの加入金無料とし、住民負担を最小限に抑えているところである。

本町のテレビ視聴世帯は共聴テレビと光回線によるフレッツテレビが混在しており、全国的にも特異な事例である。

以上のことから、ケーブル

時点では、それぞれ異なる設備や運営方法でテレビを視聴していることと、各共聴組合とフレッツテレビ会

トサービス及びIP電話が全域に受けられる環境も整備し、フレッツテレビの利用を工事費用のみの加入金無料とし、住民負担を最小限に抑えているところである。

本町のテレビ視聴世帯は共聴テレビと光回線によるフレッツテレビが混在しており、全国的にも特異な事例である。

以上のことから、ケーブル

ト販売手数料で構成している。近年インターネットによる宿泊申込が急増し、販売手数料が増大したことによる。

Q 尾閑

一般管理費の消耗品費は、昨年度計上されていなかつたが

A 山蔭交流促進室長

当該費目は、会計事務所の指導により30万円以下の備品等について計上している。本年度は冷蔵庫等を購入しているが、昨年度は該当支出がなかつたため未計上であった。

Q 伊庭

宿泊料の状況はどうか。適正価格といえるか

A 山蔭交流促進室長

1泊2食付きで8千円、素泊まり4800円である。ちなみに、つるぎの宿岩戸は1泊2食付きで同額の8千円、素泊まりは

5千円である。立地条件や宿泊施設等からみて適正と考えている。

5千円である。立地条件や宿泊施設等からみて適正と考えている。

Q 小坂

厳しい経営状況であるが、打開策は

A 山蔭交流促進室長

利用者の約8割が剣山登山関係であることから、剣山に依存した経営は避けられない。リニューアル後の21年度当時は、つるぎ山登山者は約8万人と想定されたが、現在約5~6万人を推移する状況となっている。

今後も、剣山に依存した経営体系の改善は難しいが、世界農業遺産の地にある宿泊施設として、新たな顧客の取り込みに努めたい。

Q 森長

指定管理料が変わつてないが

A 山蔭交流促進室長

決算時の計上は消費税を除いた額である。指定期間中(29~31年度の3力年)、指定管理料の変更はない。

Q 小坂

祖谷には多くの観光客が訪れている。本町は通過点になつていなか



劍山へのルートは3つあり、祖谷ルートからの登山客が増えていると思われる。

A 大西商工観光課長

にし阿波観光圏事業の剣山トレイン事業など祖谷・大歩危だけではなく、剣山や本町へ周遊できる観光事業に力を入れたい。

総務常任委員会

総務常任委員会では、主に戸籍、税務、防災、管財、出納及び他の2つの委員会(文教厚生・産業建設)に属さない議案等を審査します。

※ Q は質疑 A は答弁です。

Q 小坂

会計年度任用職員とは

A 山蔭総務課長

国のか働き方改革により臨時職員及び特別職非常勤職員の任用要件を厳格化するため、32年度から一般職の会計年度任用職員運用が施行される。

会計年度任用職員制度とは、臨時職員等で正規職員と同等の職務を行う者は、給与面など正規職員と同等の待遇にする必要があるもの。現在、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律施行後の運用に向け準備を行っている。

Q 小坂

災害対策費の補正是、災害時の備蓄品を購入する検討していたが、アンテナの設置や財源等も含めての費用か。期限切れの非常食再検討したい。

A 堂岡危機管理課長

以前より要望があり、町有施設で使用していなイテレビの再利用等を検討していたが、アンテナの設置や財源等も含めての費用か。期限切れの非常食再検討したい。



◇住宅リフォーム事業について

Q 小坂

住宅リフォーム助成利

Q 小坂

用者の拡充について、今

Q 小坂

後の対応策は

Q 小坂

ら9年目を迎え、一定の成

Q 小坂

果を収めた。一方で、自然災害などによる損傷、老朽化も一層進んでいると思われる。

Q 小坂

本年度の実績をみながら更なる住民サービス向上を図る目的で、町財政の状況・平等性等を踏まえて、同じ世帯の複数回助成について検討したい。

Q 小坂

同計画に計上すること

Q 小坂

で、過疎地域に限り発行

Q 小坂

が認められる過疎債を充

Q 小坂

てることができ、元利償還の負担が少ない事業を行なうことができる。

Q 小坂

も長時間の停電が発生した。この停電に関する情

Q 小坂

応について

Q 小坂

先日の台風時、町内で

Q 小坂

も長時間の停電が発生した。この停電に関する情

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラリーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

Q 小坂

リーの一部を利用し産直イ

Q 小坂

交流促進プロジェクト事業とは

Q 小坂

道の駅貞光ゆうゆう館

Q 小坂

が実施する「地域産雑穀」を利用したメニュー開発を支援するための備品等を購入する。また、ギヤラ

決算審査常任委員会

決算審査常任委員会では、一般会計・特別会計・公営企業会計の決算に関する議案を審査します。

* Qは質疑 Aは答弁です。

平成29年度一般会計 特別会計決算

委員会審議

町内の製造業で大規模な設備投資があつたためで

間の延長を打ち出しているが、本町は95%執行済みである。今後は過疎債、辺地税が32年度には試算で36億5千万円まで落ち込む。国勢調査による人口減少も予測され、現段階では増える見込みはない。

①一般会計歳入歳出決算
Q 尾関 経常収支比率が29年度で99・5%、30年度には100%を超える。予算が固定経費のみとならないための打開策は、基金を活用するのか

A 山陰総務課長 普通交付税の町村合併に係る優遇措置が終了し段階的に減少している。30年度も約1億5千万円減少した。歳出が29年度並みであれば、単純計算で歳入だけで3%悪化する。予算措置の段階で経常一般財源が不足することとなり、基金の取り崩しが必要となる。

Q 尾関 成後直ちに企業へ売却できるよう誘致活動に力を注いでいる。

A 山陰総務課長 これまで人件費・総務費を抑えてきたが、これ以上切り詰められるのか

A 山陰総務課長 退職不補充とするなど計画的な職員採用を行い、人件費等の抑制を図る。

Q 尾関 また、新規事業は補助金、過疎債等を有効活用する。

A 山陰総務課長 合併特例債の状況と地方交付税の今後の見込みは

A 山陰総務課長 前年度ICTの備品を購入したが、本年度は購入しなかつたためである。

Q 吉田 地域ぐるみの学校支援事業の減額理由は

A 緒方生涯学習課長 前年度ICTの備品を購入したが、本年度は購入しなかつたためである。

Q 吉田 現在活動中の1名は、観光・文化面での地域の魅力を再発掘し、メディアを通じて情報を発信し、ガイド活動を行っている。今年11月で3年間の任期を終えるが、自ら観光会社を起業しており、協力隊としての経験を生かした世界農業遺産体験型ツアー等、引き続き当地域での観光振興への貢献が期待される。

A 武田まちづくり戦略課長 現在、整備中の第3小山北工業団地への企業誘致の状況は

Q 森長 全国展開で企業訪問等を行っており、誘致活動を行っているところである。理想として立地企業を決めて、造るところである。来年度の造成工事完成までに立地企業を決め、造

A 武田まちづくり戦略課長 現在、整備中の第3小山北工業団地への企業誘致の状況は

Q 森長 立地企業は現在未定で、全国展開で企業訪問等を行っており、誘致活動を行っているところである。理想として立地企業を決めて、造るところである。来年度の造成工事完成までに立地企業を決め、造

③介護保険(事業勘定)事業特別会計決算 収入の少ない方の介護

Q 小坂 通所介護事業収入が前年度から減額した理由は

A 坂本半田地域福祉センター長 本年度の修繕工事は23件でボイラー、ろ過器など

今後の対応は

A 篠原企画課長 ふるさと納税は件数、金額ともに増加している。返礼品は全体の2%程度であるため過大とはなっていない。納税者は、返礼品目でなく、純粹に本町にご寄付いただいている。今後も現状のまま対応していくたい。

②国民健康保険(事業勘定)事業特別会計決算 滞納整理機構の徴収率と委託件数は

A 谷税務国保課主幹 29年度徴収委託額は1億7万5378円、収入済額188万9660円。徴収率95・66%、委託件数73件で、毎年連続して委託される場合もある。

Q 尾関 通所介護事業収入が前年度から減額した理由は

A 篠原企画課長 約97%、3556世帯納期は、毎年度5月末日と決まっているが、車検

A 古田税務国保課長補佐 前年度ICTの備品を購入したが、本年度は購入しなかつたためである。

Q 尾関 固定資産税の増額の要因は、企業の設備投資による償却資産税の増加とあるが、どのような分野で営業が好調だったのか

A 古田税務国保課長補佐 前年度ICTの備品を購入したが、本年度は購入しなかつたためである。

Q 尾関 ふるさと納税は昨年度より増額しているが、返礼品は過大となっていないか。

A 松岡長寿介護課長 低所得の方の施設利用が困難となるないように、食事・居住費等の一定以上は保険給付される。1割または2割の一部負担についても一定額を超えれば「高額サービス費等」として後から支給される。

Q 吉田 保険料を納めないと保険料の未納期間に応じて一部負担が3割に引き上げられ、高額サービス費等の支給停止となる。

A 松岡長寿介護課長 2年以上滞納した場合、老会を開催し、米寿・喜寿は遠足を実施。9月には敬老会を祝う。

Q 尾関 入浴、昼食、体操やゲーム、カラオケなどを楽しんでいる。また、春と秋には温泉設備の部分的な修繕である。

A 坂本半田地域福祉センター長 入浴、昼食、体操やゲーム、カラオケなどを楽しんでいる。また、春と秋には遠足を実施。9月には敬老会を開催し、米寿・喜寿の方を祝う。

Q 尾関 修繕工事の内容と今後の修繕計画はどうか。また、入湯利用者の構成は

A 山陰交流促進室長 本年度の修繕工事は23件でボイラー、ろ過器など

Q 尾関 本事業の減債基金を借り入れたものである。27から5年間、2千万円ずつ取り崩している。

A 山陰総務課長 本事業の減債基金を起

徳島県町村議会議員研修会



8月8日、平成30年度徳島県町村議会議員研修会が、徳島グランヴィリオホテルで開催され、県議会議員と県下24市町村の議会議員が出席しました。

研修会では、NHK解説副委員長 島田敏男氏の「安倍政権の今後と政局の行方」、富士通総研 経済研究所 主席研究員 柯隆氏の「秋の安倍首相の訪中に向けた日中関係の新展開一周近平の国際戦略の内実」と題した講演を拝聴し、今後の議会活動に大いに参考になりました。

表紙写真：天空の恵み 雜穀

世界農業遺産の町=つるぎ町の急傾斜地で栽培・収穫された雑穀。かつては庶民の重要な主食穀物でしたが、米の増産とともに減産してきました。

最近は、優れた栄養価をもち、食物繊維が豊富なことから健康食品として見直されています。米やパン、天ぷらの衣に混ぜるなど、料理や食品に幅広く使われ、雑穀の需要は高まっています。

※雑穀とは、一般に「米・小麦・大麦を除く穀類」をいいます。

※五穀とは、一般に「主食となる穀物で、米・麦・粟(あわ)・豆・黍(きび)または稗(ひえ)」をいいます。具体的な穀物名を指さずに「穀物全般の総称」として用いられることもあります。



世界農業遺産 「にし阿波の傾斜地 農耕システム」 ロゴマーク募集!

世界農業遺産(GIAHS)に認定された「にし阿波の傾斜地農耕システム」を保全・活性化していくために、この農耕システムを象徴するロゴマークのデザインを募集しています。

募集要領など、詳しくは、広報つるぎ10月号8頁をご覧ください。

※『つるぎ町議会だより』へのご意見・ご要望をお寄せください。

議会の動き

8月8日	平成30年度徳島県町村議員研修会(全議員)
8月27日	議会運営委員会
8月31日	一部事務組合議会臨時会
9月3日	全員協議会
9月5日	第3回定期会開会本会議
9月6日	産業建設常任委員会
9月7日	総務常任委員会
9月10日	決算審査常任委員会
9月14日	文教厚生常任委員会
9月26日	第3回定期会閉会本会議
10月17日	四国四県町村長・議長大会 (徳島市)